

第43回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成22年10月25日(月)～29日(金) 9:00 ～ 17:00

奈良県新公会堂 Tritium2010 JAEA 展示ブース

2. 来訪者:4名 (JAEA展示ブース全体では40名程度)

3. 説明概要:

奈良県新公会堂にて開催されたTritium2010のJAEA展示ブースにおいて、来訪者に資料を配布し、イーター機構職員募集および登録の案内を行った。

4. 主なQ&A

Q:イーターが建設されるカダラッシュはフランスのどこにあるのですか？

A:イーター建設サイトは、南仏プロバンス地方にあるフランス原子力庁(CEA)のカダラッシュ研究センターに隣接しています。最寄りの国際空港はマルセイユ・プロバンス空港です。マルセイユ・プロバンス空港からカダラッシュまでは70 kmほどあり、車で1時間程度かかります。カダラッシュの近くの町としては、南西に40 kmほど離れたところにエクサンプロバンス、また北に20 kmほど離れたところにマノスクがあります。

Q:イータープロジェクトにおける原子力機構の位置付けは？

A:原子力機構は、2007年10月に文部科学省より、イータープロジェクトにおける我が国の国内機関に指定されました。この指名を受け、原子力機構は、日本が分担する物納機器の調達やイーター機構職員応募に関する支援を行っています。イーター機構と原子力機構は別の組織になります。

Q:イーター機構職員に応募するとき、核融合に関する職務経験は必要でしょうか。

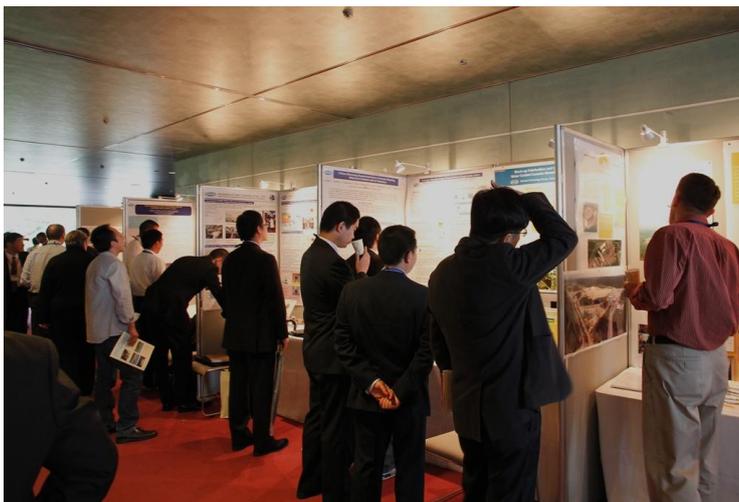
A:イーター機構が募集するポストは、核融合に関する職務経験がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。

Q:募集されているポジションと全く同一の職務経験が求められるのですか？

A:職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されています。これらの要求されている職務経験を満たす必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野等での経験が求められます。

Q: フランス語は必須条件でしょうか？

A: イーター機構における公用語は英語です。フランス語は必須ではありません。ただし、職種によっては、フランス政府当局や地元との折衝が必要となりますので、フランス語が必須条件となる場合もあります。この場合は、募集時の job description にその旨の記載があります。イーター機構の職員や家族は、現地で無料のフランス語のレッスンプログラムを受講することが可能です。



Tritium2010 における JAEA 展示ブース(左) と ITER 機構職員募集説明会の様子(右)